

◆特別会計の概要

※各会計の表中の「純計額」とは、予算総額から一般会計からの繰入金を除いた額です。

◆国民健康保険特別会計

(単位：千円、%)

	21年度	20年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	13,137,000	12,891,000	246,000	1.9
純計額	12,075,715	11,927,802	147,913	1.2

平成20年度より実施された医療制度改革を勘案した中で、歳出総額を13,137,000千円(対前年度比1.9%増)と見込んでおります。増額の主な要因としては、後期高齢者支援金の増(199,700千円)及び医療給付費の増(39,476千円)等となっております。なお、加入世帯は23,300世帯(対前年度比0.4%増)、加入者数は39,800人(対前年度比1.0%減)を見込んでおります。また、国民健康保険事業基金から60,000千円の繰入を予定しております。

◆公共下水道事業特別会計

(単位：千円、%)

	21年度	20年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	8,574,229	7,522,565	1,051,664	14.0
純計額	6,126,969	5,007,057	1,119,912	22.4

平成21年度の整備予定は、藤崎地区をはじめとする管渠整備を推進し、津田沼、印旛、高瀬の3処理区で処理区域の拡大を図ります。整備面積19.29ha、整備延長4,188.8mを実施することにより、21年度末下水道普及率は、85.7%(20年度末下水道普及率見込み84.7%)となる見込みです。また、津田沼浄化センター既存施設の改築更新、水処理施設の増設工事を行います。

◆老人保健特別会計

(単位：千円、%)

	21年度	20年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	10,069	790,486	△780,417	△98.7
純計額	5,689	728,251	△722,562	△99.2

平成20年度に医療制度改革が実施されたことに伴い、21年度は歳出総額を10,069千円(対前年度比98.7%減)と見込んでおります。これは20年4月から75歳以上の高齢者が老人保健制度から後期高齢者医療制度に移行したことによるものです。年間延べ受診件数を1,020件(対前年度比96.9%減)、1件当りの平均医療給付費を9,804円と見込んでおります。

◆介護保険特別会計

(単位：千円、%)

	21年度	20年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	6,364,839	5,934,892	429,947	7.2
純計額	5,340,325	4,929,407	410,918	8.3

21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画の初年度として、65歳以上の高齢者人口30,339人（対前年度1,587人増）、要介護・要支援認定者数3,675人（対前年度120人減）、居宅サービス利用者数2,327人（対前年度45人増）、施設サービス利用者数610人（対前年度35人減）、地域密着型サービス利用者数159人（対前年度27人減）を見込んでおります。

◆後期高齢者医療特別会計

(単位：千円、%)

	21年度	20年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	1,177,000	1,211,000	△34,000	△2.8
純計額	979,425	1,036,841	△57,416	△5.5

医療制度改革により、これまでの老人保健制度が平成20年4月1日から後期高齢者医療制度に移行となりました。被保険者は75歳以上(一定の障害がある65歳以上)の人を対象としております。この制度は県内56市町村で構成する「千葉県後期高齢者医療広域連合」が運営します。市は、主に保険料の徴収事務や各種申請の受付等の業務を行います。この後期高齢者医療制度において、医療費にかかる費用負担としては、患者負担を除き、公費約5割(国4・県1・市1)、現役世代の支援金(若年者の保険料)が約4割、保険料が1割となっております。平成21年度の後期高齢者医療特別会計の予算歳出総額は1,177,000千円（対前年度2.8%減）、加入者数は11,922人（対前年度1.9%増）と見込んでおります。